

夏の疲れが引き金に!?

サルモネラ症の予防対策

今年の夏は、高温多湿な気候が続き、牛にとっても人にとっても厳しい環境でした。

サルモネラ症は年間を通して発症がみられますが、夏の疲れが出る秋は免疫力が低下するため、特に注意が必要です。

サルモネラ症について

症状 発熱、食欲不振、水性の下痢等

感染経路 エサ等と一緒に口から入る経口感染。感染牛からは糞便とともに多量の菌が排出され、環境を汚染する。

感染源 保菌動物（野生動物や鳥）、車両や人（靴や衣服）、導入牛

サルモネラ症予防対策のポイントは「菌の侵入防止」と「菌の拡散防止」です。

サルモネラ菌の侵入を防止!

農場内に感染源をもちこまないための対策をします。

①農場入口に消石灰を撒布

タイヤ一周に、しっかりと付着

するよう3m以上の長さで消石灰を撒布します。

②牛舎入口に消毒槽をおく

消毒槽に使う消毒薬には、ピルコンSや消石灰など有機物が混入しても効果が低下しにくいものがお勧めです。



来客用長靴を準備している事例もあります。

③牛舎入口に防鳥ネット等設置

防鳥ネット等を使い、牛舎内にカラスやネズミなどが侵入しにくい環境を作りましょう。



チェーンネットでカラス侵入防止

サルモネラ菌を広げない!!

農場内で菌を拡散させないための対策を行います。

①飼槽・水槽の衛生管理

経口感染を防ぐため飼槽や水槽を清潔に保ちましょう。飼槽に凸凹があると残飼が残り、菌が繁殖しやすくなります。飼槽コーティングは費用はかかりますが、価値のある投資です。



凸凹がある飼槽

コーティングした飼槽

②子牛飼養環境の消毒

抵抗力がなく、重症化しやすい子牛の発症防止のため、飼養場所の消毒が有効です。消毒の頻度を高め、細菌数を感染しないレベルまで減らしましょう。

石灰塗布は動力噴霧を使った大がかりな作業を想像しますが、最近では万能ガンを使った手軽な作業方法が注目されています。

また、ゼオライト入り石灰資

材は飛散しにくい、乾燥が早い、脱臭効果も期待できるといった特徴があり、使用する農場も増えています。

万能ガン(※)を使った石灰塗布

- ①壁等についた糞や汚れをこそげ取る(水洗は不要)。
- ②石灰資材と水を攪拌機で攪拌
- ③万能ガンをコンプレッサーにつなぎ、石灰塗布する。

※別名リシンガン・リスタガン



万能ガンを使った石灰塗布。こまめな消毒が菌数レベルを下げる。

良質粗飼料や水の給与、換気などに配慮し、乳牛の抵抗力を落とさない飼養管理も大切です。また、抵抗力の弱い産褥牛や子牛の状態には特段の注意を払い、早期発見、早期治療を徹底しましょう。

(平成二八年九月執筆)